

平成26年第3回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	私の周囲においては、生活については、震災前と変わらないと思う。雇用が安定しているのが、何よりの理由であると思う。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	住宅再建に向けた整備等が見られます。着実に進んでいると感じます。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	日々の生活は普通に送れるようになってきていると感じる。公営住宅にもたくさんの方々が入居したり、自力再建している人もいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	住宅を建てて、入居する人が増えている。一気に建て始めた為、大工さんが間に合っていないが、安心できる場所に自宅ができること、そこで安心して暮らせることが何よりだと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	当地区の有効求人倍率は常時、1.4倍前後を計上し、雇用状況も改善している。地区内金融機関の住宅ローン取扱い件数も前年を大きく上回っており、確実に被災者の生活状況は回復している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害公営住宅地の造成は進んでいるが、移転地の整備が遅れている。（先月、借換地個別説明会が有り、未だ家を建てる状態で無い。）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・自力再建の家が増えている。 ・一団地ではあるが、防災集団移転での住居が建って、入居が始まった。 ・近隣にスーパーが再建し、買物も楽になった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	若い方の高台移転が多く、高齢世帯が残っている。ここ数カ月で求人が、かなり増えている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村では災害公営住宅が完成し、入居が始まっている。（見学させていただきました。）
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	自力で住宅再建される方が増えていることと、集団移転地の住宅への入居が具体化されてきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	家を流された人の中に、ほんの少数だが自宅を再建した方もいます。前とは別の土地で。私達の町は、盛り土をしてから復興住宅が建設されるので、3年後からです。なので、住むところは仮設住宅で、しばらくは生活しなければなりません。生きるだけはできるので、やや回復したと言えるでしょう。私個人でいえば、住宅ローンの残りがあったので、土地を手放さなければなりませんでした。家を建てるほどの力はないので、家はあきらめて、復興住宅に入居する予定です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	小規模高台団地は分譲も終わり、自力再建、公営住宅等の工事が盛んに行われている。入居も始まっているようだ。大規模団地の土地造成も大分進んで来て、来年春には分譲のメドがたって来たので、仮設住宅に入っている人達も明るくなってきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅の近所でも自力再建による住宅の建築が増加して来ている。反面、仮設住宅の空部屋の増加により、集合化の問題が出てくると思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	補助金を利用した事業所が再生。8月に移転地の現地説明会がある。

やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	高台の整地作業が少しずつ進んでいるらしく、どのようななめになっているのか、見学会が開かれたとのこと。8月にもまた、見学会があるらしい。また、三陸道の方も着々と進んでおり、道路になる所の土が高く盛り上げられている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	一步一步復興は進んでいるが、長く時間がかかるため、町民は不安がついついしている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	私の村では、高台移転先の造成工事も終了し、復興住宅と自主再建の方々の新築基礎工事が近隣市町村より数多く進み、移転先に希望が漲っている感じが与えている。ただし、居住環境が整備されても、雇用のミスマッチは相変わらず解決していない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	やっと災害公営住宅の募集が始まり、入居する住宅が決定した方も多くなってきた。高台移転の工事も進んでいて、目に見えて進捗がわかるということは、安心感につながっていると思う。雇用については、求人は多いようだが、応募者は少ないようだ。この点は、雇用のミスマッチのせいなのか、求職者が少ないのか、いつもわからないところだ。これからの課題は、災害公営住宅、高台移転ともに新しいコミュニティ作りだと思う。この点に不安を持っている方も多いようだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	仮設の近所にも家が建ち始めている。又、住宅を再建して住んでいる方が多く見受けられる。自力で再建できない方達は、復興住宅が建てばそこが最終的な落ち着き場所になると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	戸建住宅に移り住んでいく人々が増えてきた様に感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	町のあちこちに新築住宅が多く見られます。また、復興住宅も、多くの戸数が建てられてきています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	災害復興住宅に入居できる人がいた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設住宅の空室が増えて、一部は解体して校庭に戻した。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	自宅の自力再建、復興住宅の建設等が、だいぶ進んでいる様に思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	生活の回復について、実際には1と2の間ですね。経済的な面では大分回復していますが、生活の質の面ではまだまだ回復はほど遠い感じです。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	住宅高台移転、まだ工事が終了していない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に土地も購入し、自宅再建している被災者もいますし、防集区画整備事業も工事が進み始めた。 ・高齢者以外の方々も仕事についている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私の住んでいる関谷担い手仮設団地は、平成23年の当初80世帯で始まった。その後、自宅新築や中古住宅購入移転などで自立復興なり、15世帯が転出したことは、悦ばしい限りである（現在、補充入居があり74世帯である）。高台移転などの土地造成が各地で進んでいるが、中央の山田地区の宅地取得交渉が、部分的に遅れている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設住宅を出て、自宅を新築した人、アパートに移った人、復興住宅に入居した人の生活は落ち着いて、震災の前と同じように生活をしているように感じます。まだ仮設住宅に入居している方もたくさんいますが、復興住宅ができたり、高台の造成も進んでいるので、徐々に良くなっていると思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	お盆のスーパーの人の混み具合を見ていると、昨年より増えていると感じたから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	1ヶ所、災害住宅が完成し、入居が始まっている。しかし、他は整地のみで完成はまだまだ先のようであり、仮設での生活が長引く方が減らないのは仕方ない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	生活の回復は、進んでいるとまではいかないが、周りの人を見ているとやや進んできているなど感じている。

やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	住居の建設が進み、仮設住宅での生活を終える家庭が増えてきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	被災から3年過ぎた頃より自立の心が芽生えてきていると思う。民間アパートが次々と建ち、その新しいアパートに次々入居している。復興アパートもできるのに…と思って見ております。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	住宅再建、商業店舗の再建が進んでいるように感じられる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台移転工事の進み具合が見えるようになってきた頃から、移転に向け目標が見えてきた方々が多くなり、生活感が出てきている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	高台移転の整備が進んでいたり、自力で自宅再建をしている人が増えてきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	仮設住宅から出て、家を建てたり、公営住宅に入ったりする人が多くなっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	被災者の方が生活について話さなくなってきたと感じる。回復したのか、つらい事を口にしなくなったのか、どちらなのか。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	高台移転のための工事が進んでいる様に思ったため。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅が徐々に建ち、自力再建の方々も増えてきた。大型スーパーやホテルも新しく建ち、活気が見られるが、地域によって回復の進み具合に差がある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	具体的に自宅再建の話を周囲で聞くことが多くなりました。笑顔も増えたように感じます。(他県の)土砂災害による被害状況を見て「大震災のときにお世話になったから、今度は私たちが力を貸さなければ…」と考える人もいます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅が完成し、入居し始めている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	集団移転地の造成が目に見える形に進んできた。移転地での再建を望む仮設住宅の人達は自宅再建への気運が高まってきている。ただ、普段の生活は不自由している様子は見られないが、住宅の再建等、これからの生活設計は厳しいのではないかと。災害公営住宅が完成し、また、自力再建や住宅補修で仮設住宅から移転したため、世帯数が半減。取り残され感が出ている人達もいる。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	住宅について先が見えてきている。来年の10月には建てられる予定になってきた。周囲についてまだ防潮堤などこれから復旧すると思うけど、まだできていないので安心して生活できないでいる。津波注意報でも危ないと思っている。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	ここに来て二極化を感じる。生活を再建しなければならないという意識のある人は、既に行動を起こしている。それは、被災した地から離れた場所で再建に取り組んでいる人を含めてだ。一方、意欲のなさは、平日の遊技場等の人数の多さに現れているようにも思う。震災後4年目に入り、今後を考えると難しい問題だと思う。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	土地区画整理事業をめぐり、地権者の換地意向調査の開始、災害公営住宅の入居者募集開始など、個々の被災者・被災事業者の本格的な復興へ直接つながる動きが緒に就いたと実感したため。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	まだまだ仮設住宅に住んでいる方々が多く、一日も早く環境の良い住まいに移れることを願っています。また、経済的な見通しがなかなかたたない方々も見うけられます。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	未だに仮設住宅から転居する方々が少ない。特に、浸水地域内での新築住宅の建設は進んでいない。やはり、工賃や建設資材の高騰などで当初の予算では建設できない状況だ。何らかの対策が必要だと強く感じる。この3ヵ月、あまり大きな変化は見られない。回復している方々は、早い段階で自力回復している。現在、回復できていない方々は、代替地の造成が遅れている等のように、自力で何とも出来ない理由で困っている。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	学校近辺、法の脇、金浜、高浜地区と、工事が随分行われている(遅い感もあるが)。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	全体的には回復していると思うが、個人個人と話をすると、まだまだ被災前に近づいたとは言いがたい。逆に被災前にはなかった新たな問題、ストレスに直面している。また、総じて支援が全体に向いているため、個人の支援が取りこぼしになっているようだ。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	野田村は高台団地の造成が進みつつあり、南浜地区、米田地区は住宅建築が行われ、もう少しで入居可能となっている。ただ、大規模な団地は、まだ家を建てるまでには至っておらず、仮設住宅の暮らしはまだまだ続くようである。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設から新宅あるいは公営住宅に移る世帯が少しずつ増えています。その一方で、金銭の面から「家を新築できない」「家賃が払えない」との理由で仮設から移れないといった話もよく耳にします。特に、高齢者だけの世帯は大変だと聞きました。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	・生活必需品は、町内でも近隣の市でも購入でき、日常生活に支障はないが、住宅が無い。 ・町や県が復興住宅を建設している状況。ここへ来て、急ピッチで建物が建てられている感がある。 ・仮設住宅から出て、どこに住もうか（家を再建するか、復興住宅に住むか）迷っている人も多く、いつ終りが来るのか分からない。 ・町を出て行った人達は帰ってこない。確かに、先の見えない所へ帰ってくることは難しいだろう。人口の減少は仕方のないことだ。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	進展は感じない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	スーパーの出入で日常の生活は落ちついて来た感じです。この先の自宅再建のことがいつも頭から離れません。資金繰り（消費税、建材不足、人手不足）等、外部から聞かされるこれ等を思うと、夜も眠れないほど考えさせられます。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	被災者の収入や仕事があるなしによって、格差が出て、回復できる人とあまり回復できない人がいるので、まだまだ、被災前に戻るとするのはむずかしいと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅の狭い部屋に3人居て、3年がすぎ、窮屈が限界にきています。一日も早く、高台移転を願っています。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	復興住宅や企業の進出により、回復・創出はできていると思うが、人手不足と、よく耳にする。次は子育て中の女性や高齢者でも働く意欲のある人が働くことのできる環境を整える必要があると思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	生活は回復したといえる状況だと思います。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅の建設工事がさかんに行われたり、申込みなどが始まり、又、新築住宅が建てられたり…と住宅関係は進んで居るように見える。しかし、未だ仮設住宅にいらっしゃる方々のことを考えると、どちらとも言えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	・仮設から災害公営住宅へ移り住み、ホッとしている方がいる一方、まだ仮設に入居している方への精神面のサポートが必要と思う。 ・三陸道路の建設や造成が目に見えて進んできています。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	・前回と理由は同じであり、住宅のみの再建でさえ、極一部であり、道路ネットワークがまだまだ進んでいない。公営住宅への入居もまだであるし、交通規制が更に増えてきたので、大変な負担となっている。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	高台移転先の工事は以前より進んではいますが、その先が、なかなか目途がついていない（確定していない）状況を聞くと、回復にはまだまだといった感じがする。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	「復興」は、被災された方々のためのものであるという原点に立ち戻り、さらなる支援をお願いします。住宅の再建、災害公営住宅への入居を引き続き推進していただき、その後の生活のための安定した雇用の創出をお願いします。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	（緊急雇用創出事業による）コールセンターの法的整理の影響が心配

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	私の地域の防災集団移転地の用地交渉が地権者の承諾をようやく得られたと聞いた。移転を希望していた被災者にとっては、やっと走り出したという思いではないか。しかし、住宅を建築できるまでは、まだまだ先のことで、資材や大工の日当などが高くなって、いったいどのくらいの費用になるのだろうと不安を抱いている。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	復興住宅がまだ完成していない現状では、生活の回復は進んでいないと言えると思うが、仮設住宅といえども、生活の安定は見られるように思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	土地を見つけて、住宅再建するかたがたが増えてきた。様々な補助システムがあるが、なかなか周知されず、なかには再建に踏み込めないでいる方もいる。補助システムの周知を再度、あるいは手法を変えて、徹底していく必要がある。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅に入居した高齢者の表情が暗くなり、仮設を出なければ良かったと話しているのを耳にします。新しい環境に馴染み、人間関係を築くことに苦悩しています。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	仮設生活に大きな変化はありません。復興住宅（高台移転）の用地整備は順調に進んでいるようには、外見思えますが、町からの説明会において、住宅再建が可能な時期がH27年秋から28年春へと延期されたと聞き、残念です。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	雇用の面では回復してきていると思う。むしろ、人手不足だとの話を耳にすることが多い。住環境については、まだまだ回復していない。ようやく、盛り土の工事が始まったばかりで、まだまだ先のこと。回復には程遠い。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅から出れるメドが立たない。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	・復興住宅の建設も促進され生活再建のため周辺環境は整った感じがするが、被災者個々の回復は以前と変わらない。 ・周囲を見る限りは、被災者の移転地も整備され、一応環境的には整備されたと思う。ただし、住宅再建等については、被災者の置かれている個人的な生活環境が違いすぎるため思うように進んでいない感がする。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	基本的には5月の調査のときの回答と同じである。住宅の新築や建て売り等を購入して地区外に移転した世帯と地区内に留まり、防集による住宅地や土地区画整理事業による換地指定を受けての宅地造成の完了を待つ住宅を新築したり、あるいは、災害公営住宅の完成を待つ世帯に2極化しつつある。新たな移転先が決まるまでにはH27年の10月以降まで待たなければならない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	まだ仮設住宅の生活をして居る方が多く、回復したとは感じられない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	農林水産業においては所得が回復した様には見えず、消費税・燃料価格の高騰などに苦慮している様に見える。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅に住まざるを得ない人がまだ多数に上る。精神面で追い込まれている人が増えているように感じる。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	最近になって仮設道路、造成地工事の準備が始まった所、高台移転地の整備に2年間かかるらしい。その後住宅を造り、住むまで何年後になるか…進まない!!
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台移転、土地の嵩上げ工事は始っていますが、工事が進んでいる地区と進んでいない地区があり、全体を見ますと、回復を感じる迄は、まだ時間を要します。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	ここ3ヶ月間、自分のまわりで仮設から引っ越す方はいない。生活そのものの変化が見られない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設住宅がまだあるので。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	釜石に住んでいる関係上、釜石市の生活の回復は、かなり早い時間で進んでいると感じられます。一方、勤務地の大槌町では、市街地のかさ上げは進んでいます。生活の回復ということになると、3ヶ月前と全く変化がみられません。

あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅に入居してから3ヶ年も過ぎ、ストレス等で健康を害する方々も見てきており、早期の住宅再建の整備をして戴きたい。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防集も災害公営住宅も進まぬ。物価も消費税も上がる。住宅価格も上昇している（坪単価等）。あと3年でどこまで上がるのか、心配だ。その為、自力再建に変わった人は多数いる様だ。 変なNPOが沢山ある様だ。いろんな支援活動があるが、災害直後の支援の様に、素直な気持ちではいられない様な気がする。
回復していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	復旧・復興のスピードも、やや落ち着いてきた印象。
回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台の工事は進んでいるようだが、宅地にはまだまだ、先の話かな。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅での今の生活は、震災後の各家での生活と変わっていません。皆さん方は良い顔で、毎日を過ごしています。
わからない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	いい加減、仮設住宅での生活から解放してあげたい。
わからない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	この3ヶ月間、被災した方と接する機会がなかったので。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	震災の影響はないと思われるが、復興の後の、消費税の増税、燃料（電気、原油等）の値上がりは消費者及び事業所に大きく影響があると思う。全国的な問題であるので、震災と関わりがあるかは判断できないが、電気料に関しては、影響を与えているのでは…。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	復興バブル。建設関連の躍進が止らない。一方で、過剰に手当てを行った水産業は先行きが不透明になっている。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	地域経済、浜の漁はまずまず進んでいます。後継者は職業をもって仕事しております。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	依然としてあまちゃん効果による経済効果を感じます。地域経済は回復し、活性化しているものと思います。ただし、それだけでよいのか、それ以外（水産業等）の経済がどのような状況にあるのか、自分自身、実はよくわかっていないように感じています。若者が根付く街、若者が働きやすい街、若者が生き生きと働く街となるために、自分自身、何をしたらよいのだろうかと考える日々です。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	復興特需で活性化されてきていると思う。水産業も新しいブランド（海産物）を立ち上げ、盛り上がっていると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	国・地公体や民間財団、東日本大震災支援機構ならびに金融機関の支援と、被災された企業の努力により、地域経済は回復している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	震災前の状況より、良くなっている部分もあると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	今はいろいろな補助金などで取り組んでいる漁業者が自立した時に、本当に生活できる程度まで生産体制ができていくか、不安な人たちがいると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	宿泊施設を中心に着実に着工、事業着手が進んでおり、地域経済の復活を感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	空地に新築の家が目立ち回復が進んでいる様に見える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業が仕事が増えた。 ・民宿等は工事関係者や来訪者等で客が増えている。 ・学生アパートも震災直後は空いていたが、みなし仮設住宅利用や工事作業員の宿舎として利用され、所得の安定になっている。 ・仮設店舗の利用も安定し、収入が増えている。 ・漁業も活性化している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	宇部川地区は場整備事業も入札が終り、8月6日（水）安全祈願祭を行い、いよいよ工事が始まろうとしています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	特に水産業の面で回復してきたと感じる。生産量は上がらないものの、仕事の目処が立ち、海での仕事の様子に活気が見られる。観光船の就航式が行われ、震災前のように観光客が訪れてくれることが期待される。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	水産業等はだいぶ回復して来ていると感じています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	大型スーパーの参入により、確かに活気づいた面は見られる。しかし、地元の商業（商店主）は逆に不安を訴えている。中央資本ではなく地元の業者が回復しないことには、地域の将来は無いように思う。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	仕事の種類によって違うと思います。建設関係や運送にかかわる方は、以前より忙しくなり、良かったと思います。水産業も少しずつ再建されていますが、人手不足やその他の苦労はあるようです。私個人でいえば、飲食業なので、以前よりやりがいがありますが、先のことを考えると少し不安です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	建設業は土地改良工事や新築工事等が盛んで活気に満ちている。ホタテ養殖等も出荷が始まりました。商業は、被災地の中心なので人通りが少なく、大変そうだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	復興工事や復興道路の工事に伴い、車両等の通行が非常に増加しており、交通事故等が心配されるし、救急車等の通行の妨げにもなっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	漁港の工事は進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	この夏、ウニの口開けが多く、水産業が盛んだ。大きさが小さいとは言っていたが、たくさんとれているようだ。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	水産業が少しずつ整備が進み、加工業も回復傾向にあるように感じます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・グループ補助金で店舗などを新築し、開店した商店が数件ある。しかし、仮設店舗で営業している店も未だ数多くあり、以前のよう賑わいは無い。 ・銀行やホテルが浸水地域内に建設され、新しい建物が幾分増加した。それに伴い、活気も多少出てきたように感じる。また、震災復興関係の新たな企業の進出も見られる。しかし、依然、雇用のミスマッチによる人手不足は解消されない。これは、地域経済にとっては、誠に大きな問題、課題だと強く感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	町中の店舗については、大分回復したのではないかと。(大榎のかさ上げは進んでいるようだが、店舗はどうなるのか。山田の中心部もあまり進んでいない感がある。さらに、両石、鶴住居、吉里吉里を通ると、まだまだと感じる。)
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	宅地造成や道路工事のための車両が行き交い、昼食時はどこの食堂もいっぱいの人ようで、にぎわいを感じている。しかし、工事が終われば、震災前よりもさびれた地域になってしまうのではないだろうか。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	やはり建設業系は忙しく、景気もいよいよだ。建設業に人が流れ、他の産業が人手不足の状況も散見される。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災地の道路整備等が始まっているのが目に見え、いくらか前進している事が実感できる様になった。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・漁船漁業は油の値上げにより、出漁を検討中の船もあるのでは？ ・浅海・養殖漁業は、船もそろい、水揚げは6～7割程度まで回復しているが、生産者が依然と少ない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	山田町の浅海養殖施設は、復旧復興がなされてきた。震災後、わかめ・昆布の養殖が最初に復旧し、続いてホタテ貝養殖が復旧した。カキは販売サイズになるまで3年を要するが、本年より本格的なカキ養殖の生産が開始された。また、ホヤは販売サイズまで4年を要する。これの養殖生産も行われ、震災前より価格が上昇していることは、生産者にとって悦ばしい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	大型ショッピングセンターができて、人が集まり、にぎやかになっている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	新しい店などが建っている気がするから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	新築し、運営を新たにした事業所が増えてきた。しかし、運営自体は順調ではないと思う(人口の流出等)。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	進んだ、というまでの実感はない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	三陸鉄道の全線開通やあまちゃん人気の継続等により、久慈市は観光客が多くなっていると感じる。

やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	地域経済全体として、回復している様に感じます。ただ、直接、経済に関わっている身でないため、感じますとしか言えない状態です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	ウニ漁もありました。被災した駅も新しくなり、震災前のようになった。観光船も新しくなり、観光客が増えることに期待したい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	消費税が上がったと言っても、消費にさほど影響がないように感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	震災前に馴染みのあった数店舗が営業を再開し始めています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	養殖生産体制が整い、生産も2回の漁期も終えたが、漁港の整備が遅れており、本来の加工場の建築もされておらず、生産加工に支障を来している。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	中高年が働く場所が震災前と同様に現在もない。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	<ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤の建設や漁業関係の施設整備の回復のあおりで地域経済の復興は徐々にはあるがみえてきた。ただ、震災復興の諸事業が終了した後の地元経済への影響を考えると一抹の不安がある。 ・この3ヶ月間は消費税の引き上げや生活用品の値上げなどの要因で明らかに消費者の消費傾向に陰りがみえ停滞気味に感じる。夏休みや帰省を利用したジオツーリング効果に期待している。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	復興関連で材木の需要が多いのか、伐採して赤土が見えている山が震災前より多くなった感じがしています。復興で材木が必要とされ、喜ばしいのですが、次世代への為に植林が必要なのではと考えます。今のままでは、山々が荒れ果て、ゲリラ豪雨等により土砂災害を誘発する恐れがあります。復興は震災に襲われた地域を再建するだけでなく、あらゆる事に関して取り組む必要があります。植林事業を通して、水源の確保、酸素の再生工場、土石流の防止等をいまやるべきではと、切に訴えます。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	施設・設備の再建がほぼできているが、人手不足が解消できずに復興と言えるほど売上が回復できていない所が多数に上るように感じている。公務部門の臨時職員の雇用を止めるべきと思う。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	水産業、農業ともいづいぶん活発になってきたと思う。加工品の新商品開発など、最近新しい動きも目立つようになったし、地域の皆さんが集い、新商品開発のセミナーのようなものを行う機会も多くなったようだ。少し前に、製氷工場が火災で燃えてしまったため、これがくやまれる。この工場ができていたら、更に安定していたのではと思う。観光面では、年々お客様が少なくなっているように感じる。新たな魅力作りが必要な時期なのかもしれない。

どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	復興事業に伴い、外部からの企業が何社も出入しています。そのおかげで、一部の業種では安定しているかと思われませんが、何年後か復興事業が終了（完了）した時にどうなるのか…？ 今のうちからシミュレーション等して対策を講じるべきではないか。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	漁業の町だから、水産業が回復しないことには地域経済が回復しない。様々な支援があって、漁業をやっている人はいるのだが、若い世代にはなかなかいないようだ。水産加工場ができ、働き始めたが、働き手が集まらないと聞く。問題は、働き盛りの被災者達に働く意欲が不足していることだ。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	土木・建設関係は、震災前よりはるかに良いと思うが、その他は？ もともと経済的には下火であったと思うので、回復と言っても、何とも言えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	仮設から自宅を建て、4家族が出て行きました。水産加工場、工事現場等で働く人達は生活も落ち着いている様です。経済的内面はわかりませんが。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	近くにスーパーができて、たくさんの買い物客でにぎわっていた。まだまだ、かさ上げの土地の造成工事が進んでいないため、地元の商店もどこに自分の店を構えたらいいか、わからずにいる人もいると思う。土地の買収も進んでいないので、しばらく時間がかかると思う。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	3ヶ月間ほとんど変わっていない様に見えますが、毎日感じるのは、ダンプの通る数を見ていると、やはり目に見えない所で進んでいるのだと思います。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	被災当時に比べれば回復しているが、最近の変化がないように感じる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	山田町のほ場整備工事は始まっていますが、まだ完成していないので、被災農家の経営再開に至っていません。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	商業施設やホテルなどが建ち、回復はしていると思うが、一時的なもの、採算がとれないのではないかと、よく耳にする。一時的な『復興景気』とならないよう、商業施設を集め、商業エリアを作るなど考えた方がよいと思う。また、併せて、へき地など市街地から離れたエリアをベッドタウンにするなど地域全体で取り組むべきだと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	少しずつですが、良くなっていると思いますが、行政より個人の努力が大きいように見えます。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	大手スーパーは、たくさんの人でにぎわっているが、その反面、仮設商店などの客数はいかなものかと思う。又、三陸鉄道全線開通となっているが、利用客は、観光客以外、地域の人々の利用状況（人数）は多くないのではないかとと思う。沿線に住んでいる者として、三陸鉄道の開通をととても喜んでいるが…。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	各分野で回復した事と、そうでない事ははっきりしている（工事関係は忙しく、漁業関係は遅れている）。商店の再建があり、応援していきたい。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	「生活の回復」「安全なまちづくり」の進み具合と比べると、いくらか状況は良いのではと考えることもできるが、震災前の経済状況のような回復には難しいものがあると思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	農業、水産業の回復には時間がかかると思いますが、被災前より豊かな産業となるよう支援をお願いします。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	地域の商店などは震災前と特に変わらないように見えるが、実際にはどうなのだろう。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	消費税増税、ガソリン高などの影響により、あまり経済回復の実感がない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	養殖ワカメ・コンブの水揚げは、被災前と同じ水準になった。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	イベントなどには人が出ているが、普段の地元商店街には人がいない。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	今現在行われている工事等について、法制上、不都合な状態になっていないか。県や国の調査も必要なのではないか…。 (宅地造成が進んでいる。土の処理等について、契約上不都合になっているところがある。大手に委託したが、責任の問題で、余った土の管理に融通がきかない。)
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	水産関係で、船も施設も整ったが、一度離れてしまった販売先を取りもどすのは非常に難しい事だと感じる。水産物の値段が、震災前の半値では、とても厳しい。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	事業を再開したり、新しい分野で起業するなど、活発な動きもみられるが、それは一部に限られるように感じる。特に、地場産業の回復がむずかしそうにみえる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	大手企業（ドラッグストアやホームセンター）などの店舗数が増えました。町中心部にある仮設商店は地盤を上げるための工事着工とともに移転・閉店する状況にあります。どちらにも本設再開するには資金面で厳しい状況にあると聞きます。個人的には、被災した自宅の住宅ローンを支払いつつ、家を再建する力がないため、仮設住宅を期限ギリギリまで使用させてもらえるようお願いをするしかありません。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	新規で参入してくる企業がある一方、場所や賃金面などで苦心している話を聞く。盛り土の工事にもなう仮設店舗の移転場所や移転費用をどうしようとか、新規で事業をしたいが場所がなかなか決まらない、補助事業のあるうちに基盤を作り、地元の人・物を使って事業をしたいがスムーズに進まない…など。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	・仮設店舗から本設に移った店もあり、地に着いた営業ができるものと思われるが、廃業を余儀なくされた店もあり、店舗数は大幅に減少する。 ・震災前より小型船・サップ船ともに減少した。しかし『ウニ』の口開け等、精神的な明るさが出てきている。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	未だに仮設工場や仮設店舗での営業を余儀無くされており、本設営業予定地の工事完了を待っている状態である。防災集団移転促進事業や都市再生土地区画整理事業が市の計画どおりに進んでいるように思われるので、工事完了後は、それぞれの区画に店舗等を移転するのではないかと。借換地指定が順次進められており、各経営者とも本設移転に向けて準備に入りつつある。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	少子高齢化が回復の足枷になっている。この傾向は、今後一層深刻化するように思える。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	経済の回復は、少しずつは良くなっているとは感じますが、商店街の整備等はまだまだ、全体として、回復迄は実感出来ません。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	特に何も感じません。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仕事量は土木業界以外はほとんど増えてなくて、又は、復旧してなくて、経費・税金は上がる一方だし、実質“所得減”である。目を追う毎、月を追う毎に、閉塞感が増している。 高台開発・造成により、残っていた生産基盤も減る一方だし、浸水域の基盤は、5年スパンで、まだまだ目途が立たないので、計画が立てられない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	26年の8月から嵩上げ工事が始まるとの事で、宅地・商業地もこれから3年後となると思います。老人が多くなり、金融面はどうでしょう。今後、建築希望があっても、資材面の点からどうなりますか…。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	工事関係者関連の経済回復は見えるが、一方で、復興した水産関係業種の中には、販路がなくなり、苦勞している業種が多い。単価が原発影響のままのものもあり、回復のきざしが見えない物が、まだありすぎる。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	物価は上がり、漁価は下がったまま。「自家用と親戚や近所への配り魚に使用している。店に並ぶと高い」と言っていた。野菜類も同じである。仮設住宅では作業場所が無いので多くは作らない。気軽に使える作業場があれば良いなあと、年寄りの方が言っていました。 大きな組織には知恵があるが、弱い人たちには何もない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	以前のようにボランティアが来ないため、観光にもっと力を入れるべき。PR活動をもっとすべき（風化防止のため）。
わからない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	釜石、高田など大型商業施設がきたことは、経済の発展に大きな一歩になっている。それを目当てに被災地へ来る人は増えている。

わからない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	さまざまな業種で働き手不足となっている。それによって、企業は生産量をおさえたり、十分なサービスの提供ができかねたりしている。この人手不足はかなり深刻である。また、賃金が上がっているわけでもないのに、働き手の生活は良くなっていないと思う。
-------	------------	------	------	---	--

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・かさ上げが順調に進んでいる。 ・被災後の不要の建物撤去が進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村前浜地区の防潮堤工事が日々進捗しております。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	目に見える形でないにしろ、少しずつ進んでいるとは思いますが、住民に対して明確な説明が欲しい。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の工事は進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤等の整備がかなり進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・防波堤などの津波対策に関する建造物は未完成の為、浸水地域内に居住している人は、津波の恐怖心があると感じる。安心して住める環境整備の加速化を望む。 ・街中の裏通りの歩道や側溝などの修繕が実施され、ほんの一部ではあるが、歩き易くなった。しかし、全体的にはまだまだ不十分だ。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	防潮堤工事も始まり、市民の皆さんは早く完成しないかと待っているようだ。また、まちの中の津波の跡が少なくなるにつれ、記憶を風化させないように、津波の高さの表示など、小さいながらも様々な取り組みがみられる。これも、災害に強いまちづくりのひとつと思っている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	海の中の防潮堤の方は終わったように見受けられる。陸の方はこれからの様ですが、早く完成させてほしいと思う。住民の方々の災害に対しての心がまえが、ずい分、心の中に感じられます。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	色々な取組を行ったり、工事が着工したりと目に見えるようになってきたが、一斉の工事のため進みが遅いと感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	・堤防工事が進んでいます。また、小・中学校の新校舎工事が始まった。 ・災害に強いまちづくりは必要なことです。今後、何十年先を考えたまちづくり（人口減少・高齢化など）も一緒に考えてほしいと思います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	ようやく防潮堤の工事が始まっているから。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	堤防の整備、新しい住宅地の整備等、順調にすすんでいると思います。住民一人ひとりの意識を高めていく必要もあると思います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤や復興道路の整備がすすめられている。また、震災を踏まえた新たなハザードマップが住民に配布された。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	盛土造成工事が進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	地域によっては、避難タワーの設置計画が進むなど、進んでいると実感している。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	堤防のかさ上げをしているが、完成まで川の氾濫が心配です。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	津波が押し寄せた地区の嵩上げ計画も、具体的な動きが出て来ている（移転やその補償金）。この計画が完遂した時点で、安全なまちづくりが達成された、となるのだろう。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	被災地の山付堤防や河川堤防の工事は、計画より遅れているものの、形が見えてきており、確実に進んでいる。海側の山付堤防は異様に大きく、住民を守るためとはいえ、景観は非常に悪い。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	・震災時の被災状況が他の町村に比較して軽微であるせいか、行政として住民の安全確保のためにいろいろな対策を講じているが、時間とともに防災・減災に対する意識が減少してきた感じがする。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	ハード面は、まだまだだと思う。ハード面と合わせて、住民の意識をしっかり培っていく取り組みも重要。いずれも、これからだと思う。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	ハード面に時間を要するため、整備等に着手されてはいるものの、実感としてはあまり感じる事が無い。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	自動車専用道のトンネル掘削工事が数箇所で行われている。瓦礫作業の大型ダンプ車は無くなり、道路も空いているかと思っていたが、平日の国道45号線の岩泉町～宮古市区間の大型ダンプ車の行き交う台数に、急ピッチで盛土作業が進んでいると感じています。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	やっと町並み、公共施設などの建設が始まるとともに、かさ上げ工事、新たな町づくりが始まったばかりです。これから災害に強い町づくりが始まります。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	・金浜、高浜の防波堤工事が始まった。（赤前地区の道路計画はどうなっているのだろう。） ・宮古道路は進んでいるようであるが、鉄道の方はどうなるのか。（法の脇のかさ上げは、鉄道のところを侵食(?)しているように見えるが…。）
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	まだまだ、過程だと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	かさ上げの盛り土があらこちらで目立ってきています。少しずつ進んでいるのは感じますが、工事の優先順位には疑問があります。地権者との話し合い等、いろいろ問題もあるとは思いますが…
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	町中心の一部、仮設店舗前の嵩上げ工事が始まり、色々な車が動いております。土地がどんどん平らに広がって行く様子を眺めながら、このまま順調に進んでくれればと願っております。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤など進んでいるが、かさ上げがところどころ、まだ。そっちをやったり、あっちをやったり。いつが完成なのか、わからない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	防潮堤の工事が進んで、以前よりは安全なまちには近づいてはいるが、まだまだだと思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	堤防の工事、高台への造成、盛土の様子をみると、少しずつ進み始めたように思う。ようやく始まった、という感じがする。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	県の災害対策事業は住民に説明もなく、勝手に進めているような感じがする。防潮堤工事など、どんな型にするのか、どんな型になるのか、よく住民に説明してほしい。防潮堤は高ければ安全というものではないし、ここは陸中海岸国立公園でもあり、景観や自然環境、そして干潟など守っていかなければならないと思う。その意味で市と住民との連携が大切である。調和のとれた復興事業を期待する。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	計画は進んでいる様であるが、工事が進んでいないように見られる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災地の防潮堤などの工事で、土砂運搬の車両の行き交いは、建設復興の証の象徴でもある。 織笠地区は国道45号線沿いにあり、織笠川の水門工事、防潮堤工事の進捗状況に目を見張るものがある。ただし、被災を免れた山際に15・6世帯の住宅があるのみで、被災者は高台移転である。人の住む予定のない被災地の防潮堤等の建設に疑問を感じる。 一方、被災を受けた柳澤地区の都市計画地域は、住宅建設が進み、大型店舗進出が図られている。にも関わらず、国道45号線の復旧はされたものの、防潮堤の建設が進んでいない。こちらを急ぐべきものと思われる。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事が多くの地域で進められていると思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	工事車両が増え、あらこちらでトンネル工事、道路工事が進んでいる状況ではありますが、はたして安全なまちづくりにつながっているのか、まだ疑問です。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の完成は、かなりの時間を必要とします。それまでの期間に、同程度の災害またはそれ以上の災害が起こった場合を想定した避難方策の充実と安全なまちづくりをお願いします。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	地域の消防署は津波の浸水被害の少ないところへの移転がされるというが…。学校はまだ新しい移転先も決まっていないため。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	大槌町では、かさ上げがかなり進んでいます。一方、釜石市では、浸水した地域に住宅のようなものが建ち始め、「災害に強い安全な…」とは呼べない気がしているのは、私だけでしょうか…。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事が動き出している。しかし、私自身を含め、防災意識がうすれているように思う。津波注意報がでて、高台に避難もしなかった。自分の身長は何倍もの高さの防潮堤ができてしまうと、それで安心して、尚、避難行動をしなくなるのではないかと不安になる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	防潮堤の工事は、まだのように思える（進んでる所もある）。まだまだ大変だと思うが、災害に強い町・安全な町づくりに期待したい。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の整備が進み始め、かさ上げも見られるようになった。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	防災のみならず防犯においても、新しくできた地域のコミュニティは重要であり、できあがる前から、何らかの取り組みが必要。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	海岸通りがまだ、仮復旧のままである。道路が舗装されておらず、通りにくい。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	避難訓練や地域の集まり等、積極的に参加する市民は決して多いとは言えない。各々の家庭内では災害に対する心得など良く話し合っているとアンケート調査結果では良い数値が出ているが、地域内ではそれがつながらず、意識が低い。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	町内のかさ上げが進み、高くなってはいますが、安全なのかどうかは形になってみないとわかりません。高台移転ということで山を切りくずしていますが、将来、広島のように土砂災害にあわないだろうか…と不安になります。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	沿岸ぞいの土地かさ上げが進んでいるが、一般道路が低くなって周りが見えず、車を走らせていて不安になる。
あまり 達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	工事中、道路はやっぱ怖いです。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事が始まったばかりで、2線堤はいつ始まるかも検討がつかない。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	<ul style="list-style-type: none"> ・浦浜、崎浜、甫嶺の防潮堤建設工事は順調に進んでいる。 ・小学校、認定こども園の造成工事は順調に進んでいる。 ・防災集団移転の造成工事が予定通り進んでいる。 ・災害公営住宅（2ヶ所）は用地が決まったが、工事は始っていない。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤の整備ははじまったばかりで、不安が残っています。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	宅地嵩上げ工事が盛んに行われているが、まだ完成にはいたらず、不安が残る。防潮堤の工事も進んでいるが、まだまだ途中だ。
あまり 達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	古い防潮堤をとりこわし、新しく高くなるものを造る工事が進行中である。先日、地震に伴う津波注意報が出されたが、避難する人はほとんどいなかった。「津波をくい止めるために高く丈夫な防潮堤を造りますよ」と説明しているのだから、「（最大1m程度の）注意報が出たから逃げましょう」と呼びかけても、避難する人が少ないのはあたり前である。『注意報で避難する範囲はココまで』、『警報だからこの範囲』…というような計画をつくれればよいと思う。注意報でも警報でも「とにかく避難しなさい」だと、実際に避難する人は少ないままだと思う。
あまり 達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	新しい「まちづくり」の計画に沿って、避難道の整備や土盛り、防潮林の植樹が進められている。しかし、そのどれもが整備途中であり、達成にはまだまだ時間がかかる。

あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	岸壁のかさ上げ、船の上架場所の整備はやや進んでいるが、防潮堤はそのままである。もう少し、住民、漁師の意見を聞きながら工事を進めてもらいたい。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事が進み、道路が整備され、早く安心して生活がしたいです。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の整備がはじまっていないので。家を再建しても日々不安でいる。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤、海岸保全工事はまだまだです。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	新しく完成した防潮堤は見えないので、あまり工事が進んでいない気がします。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の工事は目に見えて加速しているように感じるが、避難方策の充実は全く感じられない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	以前と同様で、変化はあまり感じません。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤工事や高台造成工事が始まり、工事車両が多く走っている。やっと始まったという思いだが、やはり完成までに時間がかかる（いつごろ完成するのだろう…）と思う。早く完成して欲しいと願っている。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の整備も、工事中で、徐々に進んでいると思いますが、避難訓練の実施等も含めて、進めてほしいと思います。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	やっと防潮堤の整備が始まった。危険な箇所はまだまだあるだろう。大きな道路はすぐ整備されるが、細い道などはガードレールが錆びたままである。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤の工事は行ってはいるが、目に見えて進んで居るようには思えない。避難方策もいまいち、よくわからないと思う。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	津波で破壊された防潮堤が、あの時の状態のままで鎮座しているのは、被災地を見学に来た方々への観光ガイドの話の種としては良いかもしれませんが、再度、区画整理地へ住居を構えようとしている住民にとっては、前向きな気持ちが萎えてしまいます。追討ちを掛けるように、8月に入って、行政の方から「復興計画が1年～1年半遅れそうです」との事。Wパンチを受けた感あり。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	陸前高田は、防潮堤工事、気仙川口の水門工事は始まっていますが、住宅の目線では進んでいるようには見えません。ただ、ベルトコンベアーでの搬送は進んでいます。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	今の生活があたりまえになっているため、数十cmの津波でも危ないと感じているけど、多くの人は忘れていると思う。この間も防潮堤の高さや見た目についているいろいろな意見を言ってもっとよく考えるような事を言っている人たちがいたけど、本当にそんな事でいいのだろうか？2年前ならわかるけど、今さら周りは建設が進んでいるのにこの地区だけいつまでも出来ないのはおかしい現実的でない、安全確保を第一に進めてほしい。この地区だけキケン地区になるような気がする。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤等の整備が遅れている感有り。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	防潮堤未整備
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防浪堤の一部を成す、田老地区内を流れる田代川の水門の基礎工事が始まったが、他の防浪堤は第2線堤の復旧嵩上げ工事は完了したようにも見受けられる。第1線堤の復旧工事は未だ動き出してはいない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	まだまだ、始まったばかりです。これから3～5年のはかかりそうなので、安全なまちづくりは達成していません。防潮堤も始めたばかり、UR土地区画整理事業の街は、まだ、土の仮置き場になっている状態です。3年後と言われてますが、それ以上かかるのでは？ と思います。

達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防波堤も高台移転も進まない！ 町民はあせりを通りこして、怒っている！しかし、時間がかかることも知っている。
達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	盛土による再興や計画された町づくりそのものが形になっていない。今、大きな津波が起きれば、また全滅しそうである。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	古い防潮堤を解体している。新しい防潮堤を作る前段階と考えれば、進んでいるといえるかも。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防波堤の工事が手の付いていない状態なので。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	シミュレーションに頼っていて、現実を考えていない。後世に汚点を残す。是非に及ばず。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	山の切り崩し工事が市内全域で行われている。大雨による（ちょっとした雨でも）土砂災害は大丈夫なのだろうか。熊や鹿など生態系のバランスも崩れていると感じている。復興関連のかさ上げのための工事なのだろうか？どのような計画が進められているのか、わからない。どのような説明がどのような手順で行われているのかすら、私たちにはわからない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	何も変わっていない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤が完成するのはまだまだ先とはわかります。だからこそ、高台へ避難する道路等の整備もしてほしい。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	・防潮堤がない為、津波注意報等が出た時には、震災の浸水域以上に高い場所を規制する状況が続いている。 ・高台造成工事で、雨水を古い側溝では飲み込み切れず、降雨のたびにあふれて崩落、ヒビ割れ等、高台住環境の悪化をまねいている（放置されたまま）。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・港が仮復旧のまま、高波が来た際の対処が未だに大変（港内に震災時の大岩が残っている）。 ・防潮堤の工事がまったく進まない。 ・防潮林の植樹の後、下草刈等を行わない為、枯れた状態になっている。 ・山林のガレキ撤去は行わないとの事で、元原野登記地内に危険物が残存し、山菜採りや釣りには危険な場所が多く残っている。
達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	水門が未だに壊れたまま…。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	県や町は何がしたいのか分かりません。 担当者の説明は、その都度異なり、挙げ句、「そんなことは言っていない」と口裏を合わせる始末。とても大人のする事とは思えない。町の復興にはもちろん協力したい。しかし、騙されるような形では納得できない。本当の事を伝えて下さい。誰にとつての安全なまちづくりなのか、もう一度考えてほしいと願います。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の建設は始まっているが、今回の東日本大震災の津波で防潮堤が決壊した検証も良くされず、高さだけの対応での計画がされており、堤体の構造に問題を感じる。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	やっと危険区域指定の説明会の案内がきました。自力再建中の方々との矛盾が出ないとよいが…。消防屯所も海岸より離れている所への計画（早く決まったが進まない）。防災の避難所としての機能を備えた小中学校の建設等なかなか進まないもの様だ。防集事業も災害公営住宅も…。この頃、東京オリンピックのニュースを聞くと恨めしくなる被災者は、私だけだろうか？
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	金浜の防潮堤の工事ははじめたというニュースを聞いたが、実際に見に行っていないので分からない。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	川や山地は盛土の工事が目に見えて進んではいるようです（橋はできました）が、海岸は防潮堤が修復されていないため、万が一津波が再来することがあれば、さえぎるものがない状態のままです。津波警報のたびに心配しています。実際、海岸に近寄りたくないとの心境もあり、遠くから見ての感想ですので、本当はすこしずつなおしているものとは思いますが…。

無回答	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤、高台移転等、まだ未着手ですので、早急に着工出来る様をお願いしたいと思います。町民が一番望んでいることだと思います。
-----	------------	-------	------	---	---

【自由記載集：掲載にあたって】

①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。

②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。

(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)

平成26年第3回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成26年9月25日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945